

世界一幸せで持続可能な国、フィンランドから学ぶ税金

茨城県立並木中等教育学校 1 年 樋口 美緒

みなさんはフィンランドが世界一幸せな国として「世界幸福度報告書」八年連続一位、さらに SDG s 達成度ランキング五年連続世界一位を獲得していることを知っていますか。幸福度と SDG s 達成度、ともに世界一位だなんて、何か大きな理由があるに違いないと興味を持ち、調べてみました。すると、国民や世界に良い影響を与える国の仕組みには税金が大きく関わっていることが分かりました。

フィンランドが世界一幸福度の高い国と評される理由には森林が多いなど、様々な理由があります。その中で特に重要な理由が、社会保障制度が充実していることです。充実した社会保障制度は SDG s 達成にも大きく貢献しています。例えば、フィンランドは、小学校から大学院までの学費が無料です。たくさんの子育て支援もあり、私はこれが SDG s の「質の高い教育をみんなに」を達成できている理由だと思います。また、フィンランドには、所得に関係なく平等な介護を受けられる仕組みがあり、これが将来に向けた安心感へとつながり、国民の幸福度が高くなっているのだと思いました。

これらの社会保障制度を日本と比較すると、日本は、「教育格差」という言葉を目にすることが多く、所得に関係なく平等な介護を受けられる仕組みありません。このほんの一例からも、フィンランドの社会保障制度が充実していることがわかります。しかし、そのような質の良いサービスを行うには多額のお金がかかります。そこで登場するのが税金です。フィンランドの社会保障制度の財源は全て税金となっています。そのため、フィンランドの消費税はなんと二十四%です。二十四%という数字を聞いたとき、「高い!」と感じた人がほとんどではないでしょうか。しかし、フィンランドの国民の約八割が自国の税金制度に満足しているというデータがあります。それは納めている税金が、生活に還元されていることを日々感じられ、税金の使い方に納得できているからだと考えました。

よく耳にする「税金が高い」という考えも、税金が納得のいく使い方をされ、意義を理解することができれば変わるのではないかと思います。私たちの生活は税金によって支えられています。もしかしたら、選挙のたびに聞く「減税」も、減らした分、どこかでなくなってしまうサービスがあるのかもしれませんが。私は、将来選挙で税金の使い方をより良くするため、税金の使い方についての公約をよく確認して投票したいと思っています。

世界一幸せで、持続可能な国であるフィンランドから、税金の使い方が国民だけでなく世界にも良い影響を与えることを学びました。将来、私もしっかりと意義を理解しながら税金を納め、小さな力だけれど、より良い社会世界を作る一員になりたいです。